

JPNICの今後のIPv4アドレス在庫枯渇・ IPv6対応推進活動

T1 – IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース リチャーター
@Global IP Business Exchange 2011 Autumn

2011年11月29日

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

インターネット推進部 部長

前村 昌紀



社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

JPNICとIPv4アドレス在庫枯渇

■ IPアドレスを管理する国別インターネットレジストリとして

- 在庫枯渇する資源(IPv4アドレス)、新たな資源(IPv6アドレス)に対する的確な情報を提供する
- IPv4アドレス在庫枯渇を円滑に対処するためのアドレスポリシーを、コミュニティとともに策定し、施行する

■ インターネット基盤の円滑運営に対する寄与を使命に掲げる公益法人として

- インターネット全体がIPv4アドレス在庫枯渇を円滑に対処できるよう、日本のコミュニティに対して働きかける
- IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースの一員として、参加諸団体との協力で - 【情報提供・ハンズオンセミナー実施・テストベッド運営】

■ 日本のインターネットの「情報センター」として

アドレスポリシー上の対応(1/2)

■ IPv4アドレス移転制度

- JPNICでは2011年8月1日から受付開始
 - 履歴公開 : <http://www.nic.ad.jp/ja/ip/ipv4transfer-log.html>
- 現在は、JPNICの指定事業者、PIアドレス保持者の間のみ移転可能
 - APNICメンバとの間は今後状況を見ながら検討
 - APNICと他のRIRの間(inter-RIR)の移転は、APNICではそれを認めるポリシーが施行されているが、他のRIRで同様のポリシー制定が必要

アドレスポリシー上の対応(2/2)

- 「最後の/8ポリシー」によるIPv4アドレス割り振り
 - APNIC/JPNIC枯渇後、既存及び新規の指定事業者は最大/22の割り振りを受けることができる

- IPv6アドレス割り振りの要件は簡素化済み
 - 現在IPv4の割り振りを受けている事業者は、申請書記入のみでIPv6アドレスの割り振りを受けることができる

タスクフォースにおける推進活動(1/2)

- IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースの広報グループとして、Webサーバの管理を中心に活動

- タスクフォースの情報提供活動を押し進めます

- アプリ・サービスの事業者、プレイヤーに対する周知が重要課題

- 2011年度は、jus(日本UNIXユーザ会)との協同で OSC==オープンソフトウェアカンファレンスに対して、3回出講



kokatsu.jpはIPv4/IPv6デュアルスタック、ipv4.kokatsu.jpはIPv4シングルスタックで提供しています

IPv4 EXHAUSTION IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース

お問い合わせ | Google カスタム検索 | 検索 | 日本語 | ENGLISH

概要 ABOUT TF | ニュース NEWS | セミナー&イベント SEMINAR & EVENT | 活動報告等 ACHIEVEMENTS | 参加団体 MEMBER | よくある質問 FAQ

ISPの方へ FOR ISP | CATVの方へ FOR CATV | IDCの方へ FOR IDC | ASP/CSPの方へ FOR ASP/CSP | ユーザの方へ FOR USERS | その他の方へ FOR OTHERS

IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース

IPv4アドレスのAPNIC/JPNIC在庫がついに無くなりました

あなたがお使いのIPアドレスは2009:dc2:1000:2008::8060です。

IPv4アドレス枯渇について

現在私たちが利用しているインターネットでは、主に IPv4 というプロトコルが利用されています。このプロトコルを利用した通信を行うためのアドレスが IPv4 アドレス であり、32ビットのアドレス空間(約43億個)を持っています。

IPv4 アドレス空間は全体を256個に分割して、分割した一つを「/8ブロック」と称し、この単位で IANA から各 RIR に分配されます。ちなみに、「/8ブロック」は2²⁴=1678万個のアドレスを内包しています。

1990年代前半のインターネットの商用利用から、21世紀に入ってからのブロードバンドの普及などにより、インターネットは急激に拡大・発展しています。これは同時に、有限の資源であるIPアドレスの消費にもつながっています。

IPv4アドレスは、ここ数年でおおよそ年間10個の「/8ブロック」が消費されており、インターネットの拡大がこのペースで

IPv4アドレスの在庫枯渇とは

WHAT'S NEW IPv4 EXHAUSTION

IPv6 オペレータ育成プログラム IPv6

IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース テストベッドのご案内 IPv4

タスクフォースWeb : <http://kokatsu.jp/>

OSCのWebURL : <http://ospn.jp/>

タスクフォースにおける推進活動(2/2)

■ ハンズオン:

- v6協議会と協同で運営主体として実施
- 9,10月開催分に続き、1,2月開催分の受付を開始

■ テストベッド:

- タスクフォース, v6協議会の協力のもと、JPNICが運営主体として実施
- 12月受付開始に向け準備中



「IPv6ハンズオンセミナー」2012年1月、2月分の登録受付開始

2011年11月25日 3 | retweet

[IPv6ハンズオンセミナー\(IPv6オペレータ育成プログラム\)](#)の申込受付について掲載いたしました。

- ◆ IPv6ネットワーク基礎編(岩手県/盛岡市) 東北6県優待セミナー
2012年2月17日(金)
- ◆ IPv6ネットワーク基礎編
2012年1月17日(火)
2012年1月25日(水)
2012年2月22日(水)
- ◆ IPv6サーバ基礎編
2012年1月18日(水)
2012年1月26日(木)
2012年2月23日(木)

詳細・お申し込みは[IPv6ハンズオンセミナー](#)のページをご参照ください。

セミナー受付の案内:

<http://kokatsu.jp/blog/ipv4/news/2011/11/ipv6201212.html>

IPv6 対応テストベッドのご案内

2011年12月5日

■ IPv6対応テストベッドとは

すでにアジア太平洋地域のレジストリレベルではIPv4アドレスの在庫が枯渇し、ISPLレベルでの在庫枯渇も現実味を帯びてきました。インターネットがこれまで通りの拡大と発展を遂げていくためには、こうした状況にもむけた対応をする必要があります。特にネットワークに関連したサービスや機器を提供している企業で、サービスを提供し、競争力を維持し続けるためにも、IPv4アドレスの在庫枯渇に向けて、IPv6技術の導入が必須になってきています。

JPNICでは、これからIPv6に対処しなければならない状況にある企業、団体の皆様が、試験を行うことができるIPv6テストベッド(検証環境)を、以下の通り無料で提供することになりましたので、ご案内申し上げます。このテストベッドでは、自社ネットワークのIPv4/IPv6デュアルスタック化、アプリケーションのIPv6化、デバイスのIPv6化に向けた検証といった、IPv4枯渇に向けて導入が必要とされている技術について、幅広く検証していただけます。

テストベッドご利用イメージ

ネットワークの枯渇対策技術の導入検証
例) IPv6導入手順の検証

ネットワーク監視

デバイス、サービスの検証検証
例) 枯渇対策検証下での動作検証

アプリケーションの動作検証
例) 枯渇対策検証下での動作検証

テストベッドご案内ページ(近日公開) r

ありがとうございました

JPNICの今後のIPv4アドレス在庫枯渇 ・IPv6対応推進活動

T1 – IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース リチャーター
@Global IP Business Exchange 2011 Autumn

2011年11月29日

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
インターネット推進部 部長 前村 昌紀

